

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 44  
冬号  
平成 27 年  
(2015)

# 環境ひらかた



明けまして おめでとようございます

昨年末の衆議院の解散で、私たちにつきつけられた選択は、アベノミクスを選ぶのか、選ばないのかでした。しかし私たちが本当に選択しなければならなかったのは「私たちの国、日本をどのような国にしたいのか？日本の進むべき道」だった筈ですが、結果は、予想通り自公で3分の2を占める結果となりました。さて2015年、どのような年になるでしょう。環境ネットワーク会議は、環境問題が抱える課題に精進して取り組んでまいります。今年もよろしく願いいたします。

◆○○◆ お知らせ ◆○○◆

「ひらかた エコフォーラム 2015」を2月7日(土)に10時からメセナひらかた会館で開催します。“地球温暖化対策をみんなで考えよう！”と、取り組んだ発表や楽しく学べるイベントがたくさんあります。子供から大人までが楽しめるエコフォーラムにぜひご参加下さい。

詳しくは中面をご覧ください。

\*\*\*\*\*目次\*\*\*\*\*

新年のごあいさつ	P 1
ひらかたエコフォーラム 2014	P 2
我が家のエコノート・節電コンテスト	P 3
各部会報告	P 4・5
「お知らせコーナー」	P 6
環境トピックス VOL. 10	P 7
シリーズ「地域の環境人登場」	P 8

## みんなで取り組む “地球温暖化対策”



昨年のエコフォーラムの様子



学校園環境表彰



枚方市環境表彰



環境の取り組み発表



自転車発電体験



ブース展示



クラフト教室

### 温暖化対策の取り組み事例発表

聞いてすぐに“実行”できる!!

工夫・アイデアが満載

今年で9回目を数える“ひらかたエコフォーラム”をメセナひらかた会館で開催します。今年、「みんなで取り組む温暖化対策」をテーマに、自治会、事業者、市民の方がそれぞれの立場で「温暖化対策の取り組み成功事例」の発表があります。

近年の、豪雨、豪雪、台風の強力化など気候変動は温暖化の影響？というのはみなさんも感じておられるところだと思います。その温暖化防止に少しでも役立ててもらえるよう、また、みんなで取り組んでもらえるよう開催します。環境について一緒に考えてみませんか。枚方の名産品無料試食券がもらえるブースラリーもあります。子供から大人までみんなで楽しみながら学べる環境イベントです。ご家族そろってお越しください。

**2015年2月7日(土)は、メセナひらかたへ**

**環境に関する楽しいイベントが盛りだくさん♪**

【午前の部】枚方市環境表彰、緑のカーテンコンテスト表彰、学校園環境表彰

【午後の部】＊「温暖化対策の取組成功事例」発表

＊節電コンテスト各賞発表・アイデア披露

＊ブースラリーの無料試食・エコドライブ体験・自転車発電体験

＊絵本・紙芝居表彰

＊クイズ大会(素敵な賞品もらえるよ)

【終 日】環境に取り組んでいる学校園や企業・団体によるブース展示、ブースラリー、クラフト教室

【共 催】NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議、枚方市、枚方市教育委員会



# 我が家のエコノート 活用していますか!!

「我が家のエコノート」とは簡単につけられる環境家計簿のことです。1冊に3ヶ月分のガス・電気・水道の検針票を貼り、使用量や利用料金等を記載するようになっています。ノートを付けることでCO<sub>2</sub>の排出量や家計でいくらかかっているか昨年度と比較できます。とっても簡単にできますので一度チャレンジしませんか?平成26年度からエコチェックDAYに代わって始まった「我が家のエコノート」。引き続きこちらへの応募をよろしく願います。



※「我が家のエコノート」は当団体事務局、枚方市役所受付(本館・別館)、支所、枚方市環境総務課、枚方市内の図書館生涯学習市民センター等に設置配布しています。

「我が家のエコノート」に、取り組んでいただいた方には特典が!!ポイント制になっているので、ポイントをためて好きな商品と変換できます。

## 【ポイントについて】

★記入状況により獲得ポイントが違います

- ・ステップ3まで記入→10ポイント
- ・ステップ2まで記入→5ポイント
- ・ステップ1まで記入→3ポイント

★ボーナスポイントがあります:連続4回応募すると10ポイントプレゼント

★削減達成加算があります:削減できていれば、削減率に応じてポイントをプレゼント

- ・5%未満→3ポイント
- ・5%以上10%未満→5ポイント
- ・10%以上→10ポイント

★応募は簡単:連続した3か月間の検針票で1回応募ができます(平成26年6月以降のものが対象です)

★エコ診断もついてきます:ご応募いただいたノートは簡単なエコ診断を付けてお返しします。



## ひらかた夏の節電コンテスト!ご参加ありがとうございました。

2014年度も前年度に引き続き「ひらかた夏の節電コンテスト」を実施しました。

3回目となる今回は217名の参加があり「話し合いながら楽しく取り組めた」「意識

することで自然と節電につながった」などの嬉しい感想が聞かれ、家族そろって

楽しく節電や省エネにチャレンジされた様子が伺えました。節電や省エネは「ちょっとした意識」から、コンセントを抜くなどの「こまめな行動」が大切です。継続こそ力です。

結果報告及び各賞の表彰は2月7日開催の「ひらかたエコフォーラム2015」にて行います。

2015年も実施予定です。削減できなくても大丈夫。その気持ちがあれば応募資格はあるんです。ぜひご参加ください。



# 部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

## 環境教育サポート部会

### 頑張ってます！ S-EMS支援活動！ — 知的資産効果という視点で見ってみました —

昨年11月、名古屋市でESD\*<sup>1</sup>に関するユネスコ世界会議が開かれました。本市でも教育委員会が新たに教職員研修を独自に行い『環境教育を通じて、子供たちに伝えたいこと』をテーマに、ESDを実践する姿勢を明確に打ちだしました。S-EMS訪問支援活動では「取り組みやその姿勢が教職員を通じて子供たちに伝わっているか」また「如何にしてその教えを保護者に繋げていくことができるか」といったところで、腐心しています。今回、S-EMS支援活動を、多くのNPO団体等が評価指標として用いている「知的資産としての分析」手法で評価してみました。



・教育委員会での総合研修や各学校・園での訪問時における個別研修等の受講教職員数  
＝延 360 人超

・地球温暖化防止活動の影響を与えられたと考えられる人数  
＝10800 人

〔 上記 360 人の内 2/3(240 人)が生徒・児童・園児、各々 30 人に影響を与えたと仮＝7200 人  
更にその半分が保護者にまで影響を与えたと仮定＝3600 人 〕

・上記の計 10800 名が将来的に最低限の省エネ活動やごみ減量等に取り組んだと仮定し、省エネ活動やごみ減量等によってもたらされる効果(知的資産効果)を年間 1 万円とすると  
 $1(万円) \times 10800(人) = 108,000,000(円)$

以上のように年間 1 億円以上の知的資産効果が発生した事になります。“あくまでも仮定の話”と言われればそれまでですが、年間75学校園への支援活動が更なる効果をもたらし環境保全都市としての発展に繋がっていると信じています。

\*<sup>1</sup> 持続可能社会の構築のための教育

## 公共交通部会

### 電車やバスものがたり 絵本&紙芝居作品受付終了！ 28 点の応募がありました

公共交通部会が電車やバスをもっと身近に感じ楽しく利用できるようなエピソードをテーマにした作品募集を行ったところ、28 作品の応募がありました。審査結果発表は「ひらかたエコフォーラム 2015」で行われます。(応募受付は昨年11月末で終了しました)



## 自然エネルギー部会

### ひらかた自然エネルギー学校2014～第3回ピコ水力発電・穂谷自然農園見学～

昨年10月18日開催。この日、穂谷はコスモス畑と枝豆販売で人が賑わっていました。まず、穂谷にあるメガソーラーを見学。昨年3月から発電を始めた「エクセディ SB 大阪」は、1メガワット(1014 瓩)あり、枚方では最大規模です。続いてピコ水力発電を見学。当部会の鹿取寛さんの労作でわずかな農業用水を利用するものですが、「しっかりした作りだ」と驚きの声が上がりました。その足で、穂谷自然農園経営者の上武邸を見学。廃材や薪を燃やすバイオマスボイラーを使った給湯床暖房設備は全国的にも珍しく、おそらく枚方ではここだけとのこと。昼食後、報告会では「枚方市の取り組む地球温暖化対策」を枚方市環境総務課職員、部会の紹介を当部会長の井上祥子「穂谷の自然エネルギー」を上武治巳さんが、それぞれパワーポイントを使いながら話され、ピコ水力発電の製作過程もスライドで披露しました。受講者の皆さんからも一言いただき、和やかに見学会を終えました。



## まちづくり部会

### ひらかた宿景観勉強会を開催!!

まちづくり部会では、貴重な史跡を今後どう引き継いでいくかを考えてもらうきっかけとなるよう「フォトラリー」を開催しています。今まで3回開催してきたのですが、前回のフォトラリーの開催後、「景観維持に対する意識喚起についてこれまでと違う切り口で進めてみては」という要望があり、景観の維持と町の活性化の両立を図るにはどうすればよいのかを改めて考えていくことになりました。その第一歩として、実際にこの町で景観を維持するために苦勞されている方からお話を伺い、景観維持・保存の課題を明らかにすることを目的に、枚方宿景観勉強会を開催しました。参加者は私たちまちづくり部会のメンバーをはじめ「ひらかた観光ボランティアガイドの会」「宿場町を考える会」「宿場町勉強会」「地元自治会」から約20名が集まりました。今回のように地元の方をまじえた勉強会の開催は今回が初めての試みでしたが、各々の参加者から枚方宿についての熱い思いが語られ、今後の展開に大きな期待を持つことができました。同じ思いを持つ人々がひとつの目的に向けて積極的に意見を交換しあう、有意義な勉強会になったと思います。今回のようなネットワークを活かしつつ、次回フォトラリーに向けてこれからも検討を重ねていこうと考えています。







# お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

## ◆◆◆エコキャップ・プルタブの回収報告◆◆◆

お手伝いいただきました大勢の皆様、ご協力ありがとうございました。



●エコキャップ 7・8・9・10・11月発送分

240,800 個

累計 1,359,222 個

CO2 累計 10,085.8 kg

ポリオワクチン 1,600.9 人分



●プルタブ 11月26日発送分

31.5kg

(※手数料や送料を差し引いた量です。)

※エコキャップは、ポリオワクチンの購入資金として、プルタブは車いすの材料として寄付されます

## (予告) 第19回バスのってスタンプラリー ～桜めぐり～

日 時	平成27年4月4日(土) 開催予定		
集合場所	枚方市役所前 岡東中央公園(京阪枚方市駅下車)		
受付	8:30～ 9:00～「バスとまちのお話」愛媛大学松村暢彦教授		
定員	150名 参加無料(別途交通費が必要) ※「京阪バス1dayチケット」が便利です		

9:30 スタート 12:30～ 順次帰着アンケートに回答後、ガラポン 16:00 終了

参加者にはお茶&お菓子を贈呈! 問い合わせ・申し込みはひらかた環境ネットワーク会議事務局まで

## 臨時総会開催 ～賛助会員会費を減額～

平成26年10月16日(木)、サプリ村野環境保全研修室にて75名(委任状含む)の出席を得て、臨時総会が開催され、個人・非営利団体賛助会員会費の改定が承認されました。これにより、従来の一割3,000円が1,000円に改定されました。今回通常総会を待たず、臨時総会の開催に至ったのは次の理由からです。年度当初より、当法人が抱える課題の一つである“賛助会員の拡大”について議論を重ねてきました。結果、会費の額を下げることで“ハードルが低く間口も広がる”何より“気軽にお誘いができる”との結論に至ったのです。そこで、一日でも早く会員拡大に取り組んでいきたいとの思いで、今回の開催となった訳です。皆さんも仲間づくりのお声かけをよろしく願いいたします。



私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「どうする?増え続けるCO<sub>2</sub>」です。

### ◆ どうする?増え続けるCO<sub>2</sub>!

地中へ閉じ込めるって?…という話が出ているが、

地球を暖める温室効果をもたらす二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量は、相変わらず増え続け、減少に転ずる気配は一向にない。大気中のCO<sub>2</sub>濃度は上昇し続けている。

そこで、この増え続けているCO<sub>2</sub>を何とかしようということで注目されている技術がCCSだ。

(“Carbon dioxide Capture and Storage”の略で、「CO<sub>2</sub>回収・貯留」を意味している)

地球温暖化対策に欠かせない技術として、国際的に注目が集まっている。日本でも、2012年2月にCCS実証試験地として、北海道苫小牧が選定され、日本初の本格的なCCS実証プロジェクトが開始された。

CCSとは、工場の排気などからCO<sub>2</sub>だけを回収し、圧力をかけて地中に注入(圧入)して貯める技術で、もともとは油田に注入して石油を多く回収する手法として米国で発展してきたものだ。

しかし、CCS事業において、いくつかの不安や疑問が残る。「貯留したCO<sub>2</sub>が、将来漏れるのではないか」「貯留層が海底である場合、海洋汚染への影響はないのか」「圧入が地震を誘発するのではないか」といった不安に加え、圧入されたCO<sub>2</sub>はどうなるのかといった素朴な疑問だ。

とは言え、4月に公表された気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書で示された、産業革命前と比べた気温上昇を、国際目標の2度以内の押さえるためには、CCSなしではもはや無理な状況だといわれている。

しかしながら、それとて、化石燃料依存から脱するまでの時間稼ぎに過ぎない。根本の問題は、私たちがライフスタイルを見直し、エネルギーについて考え、より安全な持続可能な社会のためのエネルギーを選択していくことだ。

# 地域の環境人登場!!



## マイカーは“自転車”



私の知り合いで、何処に行くにも自転車で行くという人がいます。枚方から大阪までだって、勿論 5 km や 10 km ぐらいなら楽勝と言わんばかりに「移動はもっぱら自転車！」と決めておられます。私の移動手段はと言えば、たまに電車に乗っていたり、歩いていたりと「エッ！今日歩きなん！」とか「めずらしー！電車で来たん？」とか言われることから推して知るべしです。

環境への負荷を考えると移動手段として公共交通は勿論ですが、自転車の活用は重要です。

しかし枚方市内の道路状況を見ると“安心して走れる”といった状況ではないのは多くが認めるところです。では道路が整備されればマイカーは減るのか？「その前に市民の意識改革をしないと無理」といった声が聞こえてきそうですネ。



## ごみ袋のエコだけど…



ごみ収集場所にスーパーの小袋に入れたごみをいくつも手にして出している人を見かけました。多分ごみ袋の代用でエコにはなるけれど…。その小袋を作業員がひとつひとつ運んで収集車に積み込んでいました。その間収集車のエンジンは勿論かかったまま。細々としたごみを運ぶには余分に時間がかかってしまいます。

難しいですね…。エコって！一面だけみて「エコ」って思っても、違う角度から見るとそうではなかったり、いろんな角度から総合的に判断するって中々難しい！皆さんはいかがですか？



まち中のホットなエコ情報を紹介するコーナーです。エコな取り組みや頑張っている人、環境への関わりや思い、日常の中での関心毎などをお寄せください。

\* 200～400 字程度 ※原稿は紙面の都合で加工させていただきます。  
く場合もありますのでご了承下さい。

\* 写真、イラストもどうぞ

\* 掲載の方には記念品を進呈

## ひとこと



夏の節電コンテストや我が家のエコノートを持参して、多くの方が、サプリ村野の事務所に来て下さいました。直接、皆さまの取組みのお話を聞かせていただき、私自身、もっとがんばろうという気にさせていただきました。

先日、受賞される方も決まり、今は、エコフォーラムでの表彰準備に追われています。

また、10月に賛助会員の会費が改定になり、多くの方が入会して下さいました。エコフォーラムで皆さまにお会い出来る事を楽しみにしています。(三)

## ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第44号

平成 27 年 1 月 1 日発行 (年 4 回発行)

発行：(特活) ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サプリ村野内 (旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子